



各市紹介

鹿嶋市

東日本最古の神社の一つに数えられ、武の神・勝負の神を祀る「鹿島神宮」。太平洋沿岸には工場夜景も美しい「鹿島臨海工業地帯」。ハマグリやシラスなどが有名な「鹿島灘」は良質な波を作り出し、多くのサーファーが訪れています。また、Jリーグの鹿島アントラーズの本拠地であり、2020東京オリンピックでは「カシマサッカースタジアム」がサッカー競技会場となり、日本屈指の「サッカーの街」として盛り上がっています。

ビューポイント

【2つの巨大建造物】「鹿島神宮 西の一之鳥居」古くから鹿島神宮参拝の玄関口として親しまれる大鳥居は、水上鳥居日本最大級の高さ(18.5m)です。そして、鹿嶋市と行方市を繋ぐ「北浦大橋」も湖上橋日本最大級の長さ(1295.8m)で、渡る前の撮影がオススメです！



潮来市

潮来市は、「水郷潮来あやめまつり」・「嫁入り舟」で知られ、多くの方に思い出されています。初夏には色とりどりのあやめやあじさい、秋にはコスモスの花が咲き、霞ヶ浦と筑波山が望める美しい風景も魅力です。冬には、白鳥が飛来する北浦もあり、四季折々の自然を感じることができます。うなぎのかば焼きや鯉の甘煮は、水郷潮来の味。地元のお米から作った米粉麺(フォー)も絶品です。

ビューポイント

毎年5月下旬から6月下旬に開催されるあやめまつりでは、本物の花嫁さんによる「嫁入り舟」もご覧いただけます。500種100万本のあやめが咲く水郷潮来あやめ園は、インスタ映えること間違いなし！



神栖市

鹿島臨海工業地帯の中心であり、工業が盛んな街です。温暖な気候を活かしたピーマンの生産量は全国第1位を誇り、波崎漁港を中心に漁業も盛んであり水産加工品等の特産品等、商業を含め各産業がバランスよく形成されている街です。また、海や川等の自然に恵まれた環境を活かし、海水浴やサーフィンが楽しめる他、天然芝や人工芝等のサッカーグラウンドが官民あわせて100面ほどあり、サッカー合宿をはじめとしたスポーツ合宿や大会も盛んに行われています。

ビューポイント

なさか夕日の郷公園

北浦と常陸利根川がぶつかるこのエリアは、夕日が非常に美しく見える穴場スポットです。また、「なさか夕日の郷公園」には簡易展望台があり、ここからの夕景は絶景です。



行方市

行方市では霞ヶ浦と北浦の二つの湖に囲まれた緑豊かな大地で、サツマイモやエシャレットをはじめとした農産物が生産されています。水産業も盛んでワカサギ漁やシラウオ漁も行われています。かつては漁に使われていた帆引き船は100年以上の歴史を誇り、今では観光帆引き船として見学することができます。

ビューポイント

北浦に架かる『鹿行大橋』と『北浦大橋』。それぞれの橋から見える景色は湖の広大さを実感でき、水辺ならではのすがすがしい空気が味わえます。



鉾田市

鉾田市は、茨城県の南東部にあり、都心まで90km圏内に位置しています。東に太平洋、西と北が湖に囲まれた農業が盛んな街です。肥沃な大地と海からの潮風に恵まれた鉾田市では、野菜の産出額が全国第1位です。メロン・さつまいもは品目別でも全国第1位であり、トマトやイチゴのほか豚肉の生産も盛んで、自他共に認める農業王国です。

ビューポイント

海に隣接する鹿島灘海浜公園には、眺めの良い見晴らしの丘や、海岸線に伸びるボードウォーク、地元食材を使用したレストランや直売所が併設されています。見晴らしの丘から見る鹿島灘の景色は一見の価値があります。



アントラーズホームタウンDMO

一般社団法人アントラーズホームタウンDMOは、茨城県の鹿行(ろっこう)地域にゆかりのある民間企業4社(鹿島アントラーズ・エフ・シー、ザ・ロイヤル ゴルフクラブ、なめがたしろとはとファーム、関彰商事)と鹿行地域5市(鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市)の計9団体が参画する官民一体型の組織です。

スポーツツーリズムを軸とし「地域の稼ぐ力」を引き出すことを目的とした事業を展開しており、インバウンドスポーツ合宿や大型イベントなど、地域の交流人口拡大に向けた取り組みを行っています。

「茨城100Kウルトラマソンin鹿行」の様に、今後も鹿行地域全体を盛り上げるイベントや事業を展開してまいります。

スポーツ合宿の宿泊、交通、観光などの手配や、ゴルフ場、アントラーズ観戦チケット手配など鹿行地域の観光に関わることは当社にお問合せください！

一般社団法人アントラーズホームタウンDMO(茨城県知事登録 旅行業2-654号)
TEL: 0299-77-9500 ホームページ: <http://www.antlers-dmo.com/>